浜松南高校新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

# 「品行方正」は3無主義と同質異語だ！

## 躍動感溢れる高校生活を

### ―卒業生アンケートにみる南高気質―

新聞部では、卒業を目前の三年生を対象に三年間の生活をふり返り、自らどのような評価を下していらっしゃるか、十一の設問からなるアンケートに答えていただいた。下表はその集計結果である。それによれば、①巷間伝えられる「おとなしく、真面目な南高生」のイメージは「無気力」・「無関心」・「無責任」のいわゆる三無主義の裏返しにすぎず、むしろ、そうした世評に対しては嫌悪感に近い感情を抱いていること、②南高での生活には、回答者中の七割以上が「不満」と答えるなど現状に対して極めて否定的な見解を示していること、③同一校とはいえ、普通科と商業科では学校生活全般にわたっての評価にかなりの相違が見られること、など注目に値するデータが得られた。

設問内容に不備な点が多々あり、数値だけで全体像を浮び上がらせることは不可能であった。そのため、問10問11、などの記述や、随時行った面談などによって得られた資料を、分析の際の有力な手がかりとしたことを、最初にお断りしておきたい。

毎年、この時期になると、新聞、雑誌などで受験についてとりざたされる。中学生にとっては初めての経験であり、その精神的負担は測りしれない。神経を張りつめた生活を強いられれば強いられる程、努力の証しとして合格の報に接した時の喜びは、測りしれないものがある。南高生もその例外ではない。それ故に、中学までの義務教育とは違い、ある種独得の雰囲気を持った高校生活に憧れ、そこに誰もが大きな期待を抱く。ある者はスポーツに、ある者は勉強に、ある者は友人との語らいに……。

だがそうした期待も間もなく幻想でしかないことを思い知らされる。入学するや否や、早くも三年後を期してむちが打たれ始める。春休みの課題テスト以来、三年間で一体何十回の試験を受けたことになるのか考えてみればいい。「今勉強しなければ、将来悔むことになるぞ。」「勉強に耐えられない者は意識な証拠、南高に何をしに来ているのか。」……。これは励ましというよりは、おどしに近い響きを持つ。だが勉強の厳しさには自らを納得させることもできる。「逃避は悪」は甘受しよう。なぜなら、三年後の厳しい受験戦争や大学の壁の厚さも現実に存在するのだし、何よりも我々を思う教師達の愛情を感じる側面もあるからだ。同時に、「馬車馬」だって走り切った後には「それがたとえ一瞬にであったにせよ、安息の場が与えられようから。

だとすれば、「南高への不満や担任反応のなぞ」（問6及び問9）は何によるのだろう。これに触れる前に、小田実氏の指摘を紹介しておこう。

毎年年末には、私が「寮監」をしている予備校の寮で「クリスマス・パーティー」をすることにしている。べつに変わったことをする訳ではない。それなりのご馳走を食べて、歌を歌って、踊って――という具合のものだが、毎年やっているので、その時々の若者達のことのありようがなんとはなしに分かる。（中略）このごろの若者、どうしにも歌が下手になってきているのではないかと思う。（中略）それに気がつくのは、今はみんなが一緒に歌う歌がなくなってたが、そちらのほうは、普通の歌を歌う。そのうち「先輩」のなかの誰かがギターを持ってこないかと後輩達に呼びかける。実はギターは、隣近所の部屋の迷惑になるので「禁制」になっているのだが、さすが「先輩」、かつては自分達が「禁」をおかして持っていたことを知っている。彼らはパーティーに堂々持ってきて、腕を競いあった。しかし彼らの後輩達は、誰ひとり持っていない。「よくいうことを聞くね」といささか感心もすれば、寒心もしたようにとりが言う。「みんな、唄けなくなっている」（サンデー毎日・「人間みなチョボチョボやと」）

引用が長くなってしまった。氏の指摘に反論するむきも当然あろう。我々も全てを是認する訳ではない。しかし少なくとも次の点では納得できるのではないか。即ち、三無主義といわれる傾向は単に南高生特有の現象ではないが、自由の横溢する「パラ色の高校生活」とは対置される「管理」、「制約」が学校への矢望の主因になっているという主張だ。

問題は、南高生活への「不満」「否定」の度合いが、他校と比べて高いか否かということだろう。他校の同様のデータが手に入らない段階ではにわかに断定できない。ここでは「不満」70%「南高への進学を勧めない」75%という数値の意味するところを、先生方にも認識していただくよう要望するに止めたい。

「おとなしい」・「無気力」「無感動」の南高生が自らの三年間をふり返った際、決して満足感を得ているものではなかったことは、「教師は我々を信頼せよ」・「子供扱いするな」・「後輩達よ、教師の圧力に屈するな」・「勇気をもて」などにみることができる。

次に、「南校生活をふり返って忘れえぬもの」に、自らの限界に挑戦したであろうクラブ活動、平和な南校生活にアクセントをつけたはずの野外教室をはじめとする学校行事、更に親友「教育理念を明らかにせよ」・「後輩達よ、教師の圧力に屈するな」・「勇気をもて」などに進秘歩の社会変動下にあっても普遍的真理はあるのではないでしょうか。

それは河合隼雄の言葉を借りれば、人生の前半の目標が上昇することにあるとすれば、人生の後半はいかにうまく下降するかということが人生の課題である、ということです。人生は諸君の才能や努力だけではなく運命によっても大きく変化します。とまれお互いに人生の前半を健闘しましょう。

### アンケート結果

（普は普通科、商は商業科、合は普通科と商業科を合わせた結果。数字はパーセントで、小数第二位以下を四捨五入。）

質問1　三年間の高校生活をふり返って、今一番印象に残っていることは何ですか。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 部活動 | 2.9 | 31 | 1.5 |
| 学校行事 | 21.2 | 27.6 | 0 |
| 委員会活動 | 0.6 | 0.3 | 52.6 |
| 授業 | 21.9 | 25.9 | 1.7 |
| 受験勉強 | 1.9 | 0.9 | 34.2 |
| その他 | 23.3 | 11.6 | 8.6 |
| なし | 15.1 | 3.7 | 5.8 |
| 無回答 | 20.2 | 7.9 | 7.3 |

質問2　学校行事の中で特に印象深いものをあげて下さい。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 研修旅行 | 19.9 | 12.0 | 1.6 |
| 山の村 | 0.7 | 24.4 | 1.5 |
| 体育大会 | 3.7 | 36.2 | 0 |
| 文化展 | 0.9 | 27.9 | 4.2 |
| 水泳大会 | 7.2 | 43.7 | 12.8 |
| その他 | 3.3 | 0 | 0.9 |
| なし | 0.9 | 0.8 | 25.4 |
| 無回答 | 2.6 | 5.1 | 40.3 |

質問3　高校三年間で得たもの

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 学力（知力） | 16.8 | 11.5 | 7.3 |
| 体力 | 36.9 | 6.9 | 7.2 |
| 精神力 | 13.4 | 14.6 | 3.4 |
| 親友 | 3.5 | 67.7 | 7.1 |
| よき師 | 0.6 | 3.1 | 15.1 |
| その他 | 8.1 | 8.9 | 50.3 |
| 無回答 | 6.9 | 4.8 | 8.9 |

質問4　これまでの高校生活で感銘をうけた書物がありますか。「ある」と答えになった方は書名をお書き下さい。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| ある | 21.9 | 58.3 | 19.8 |
| ない | 14.0 | 72.4 | 13.6 |
| 無回答 | 19.1 | 64.1 | 16.8 |

書物名

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 人間失格・心・友情・砂の女・されどわれらが日々・愛見つけた・長いお別れ・老人と海 | 5.8 | 17.4 | 3.9 |
| 構造と力…… | 15.8 | 25.8 | 31.3 |
| 高校時代にやり残したものとして何がありますか。 | 0.3 | 23.9 | 29.6 |
| 勉強 | 11.9 | 26.2 | 8.1 |
| 交友 | 2.8 | 20.2 | 15.9 |
| 部活動 | 14.2 | 25.9 | 21.1 |
| 技術修得 | | | |
| 読書 | | | |
| その他 | | | |

質問5　高校三年間で得たもののうち、最も印象深いものは何ですか。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 学力（知力） | 16.8 | 11.5 | 7.3 |
| 体力 | 36.9 | 6.9 | 7.2 |
| 精神力 | 13.4 | 14.6 | 3.4 |
| 親友 | 3.5 | 67.7 | 7.1 |
| よき師 | 0.6 | 3.1 | 15.1 |
| その他 | 8.1 | 8.9 | 50.3 |
| 無回答 | 6.9 | 4.8 | 8.9 |

質問6　あなたが入学時に期待した高校生活と現在とを比べていかがですか。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 期待以上 | 22.9 | 32.3 | 29.8 |
| ほぼ期待通り | 12.9 | 2.1 | 14.1 |
| やや不満 | 5.7 | 48.3 | 31.4 |
| 大いに不満 | 0.5 | 19.9 | 20.4 |
| 無回答 | 37.4 | 20.9 | 1.4 |

・充実した生活が送れた。
・よい友達ができた。
・最初から期待していなかった。……
「やや不満、大いに不満」
・活気がない。
・中学と変わらない。
・生徒会活動が不十分。
・自由がない。……

質問7　それはどのような点で？

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 勉強 | 0.8 | 0.6 | 0.7 |
| 交友 | 1.9 | 22.4 | 16.8 |
| 部活動 | 18.3 | 3.4 | 6.9 |
| 技術修得 | 2.9 | 5.3 | 14.4 |
| 読書 | 0.4 | 3.9 | 8.2 |
| その他 | 0.7 | 0.6 | 1.2 |
| 勝負師おとなしい | 2.1 | 21.9 | 11.3 |
| 従順 | 15.2 | 3.0 | 5.7 |
| 素直 | 4.9 | 5.5 | 20.3 |
| 温厚 | 0.5 | | |
| 誠実 | | | |
| 無感動 | | | |
| 無責任 | | | |
| 無気力 | | | |
| 反抗心 | | | |
| 情熱 | | | |
| 責任感 | | | |
| 指導性 | | | |

「期待以上、ほぼ期待通り」

・最善をつくせ
・明るい魅力ある学校を作れ
・自慢できるものを一つ
・部活でがんばれ
・自分の責任を果たせ
・後輩達よ、教師の圧力に屈するな
・勇気をもて
・先生方に一言
・子供扱いするな
・生徒を骨抜きにするな
教師は我々を信頼せよ
教育理念を明らかにせよ。

質問8　南高生の特性としてあげられるものは。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 勤勉 | 1.9 | 0.9 | 2.4 |
| 礼儀正しい | 3.3 | 1.9 | 4.3 |
| 活発 | 2.5 | 1.4 | 3.2 |
| 勧める | 26.9 | 62.2 | 10.9 |
| 勧めない | 15.1 | 55.3 | 29.6 |
| 無回答 | 22.3 | 55.2 | 18.5 |

質問9　もしあなたに同じ学力素質を持った弟や妹がいたら、あなたは弟、妹に南高への受験を勧めますか。

| | 普 | 商 | 合 |
|---|---|---|---|
| 勧める | 0.6 | 1.7 | 2.4 |
| 勧めない | 21.3 | 4.8 | 10.9 |
| 無回答 | 2.4 | 3.9 | 8.2 |
| 後輩たちに一言 | 21.9 | 11.3 | 15.2 |
| ・活発な生徒会を | 3.0 | 5.7 | 4.9 |
| ・最善をつくせ | 5.5 | 20.3 | 0.5 |
| ・明るい魅力ある学校を作れ | | | |
| ・自慢できるものを一つ作れ | | | |
| ・部活でがんばれ | | | |
| ・自分の責任を果たせ | | | |
| ・後輩達よ、教師の圧力に屈するな | | | |
| ・勇気をもて | | | |
| ・先生方に一言 | | | |
| ・子供扱いするな | | | |
| ・生徒を骨抜きにするな | | | |
| 教師は我々を信頼せよ | | | |
| 教育理念を明らかにせよ。 | | | |

質問10　後輩たちに一言

質問11

## 出発の諸君へ

### §三年担任の先生方から一言§

**杉浦高敏先生**

三年生の諸君、卒業おめでとうございます。諸君は今この門出に当たり期待と不安がいまじっていることでしょう。

現代は固定した伝統社会が崩壊し、大人と子どもの世界の画然たる指標がなくなった感があります。しかし、このような分進秘歩の社会変動下にあっても普遍的真理はあるのではないでしょうか。

それは河合隼雄の言葉を借りれば、人生の前半の目標が上昇することにあるとすれば、人生の後半はいかにうまく下降するかということが人生の課題である、ということです。人生は諸君の才能や努力だけではなく運命によっても大きく変化します。とまれお互いに人生の前半を健闘しましょう。



**菅沼宏充先生**

今年の波瀾特集 〝南高生像を探る〟によると「南高が嫌い」「南高生として誇りを感じていない」がそれぞれ40%と70%を占めている。本校の教師の一人として残念でもあり、同時に責任を感じている。

しかし、諸君にも告げたい。南高を形成している主体は他ならぬ諸君自身であるということ。他人のなせる業にしても解決はできない。明日からどのような場所にいようとも、他ならぬ君もその場の一員である。自らその場に光を点さなければ惨めになる他はない。

**高柳邦彦先生**

卒業生諸君へ

三年間が、あっと言う間に過ぎようとしています。「光陰矢のごとし」とは、よく言ったものです。今後は級友も、自分の道を歩んだ道をそれぞれに歩んでゆきます。喜びと、一抹の不安、そして別離の淋しさを抱きながら。まだ受験が残っている諸君は、頑張って下さい。よい便りを待っています。

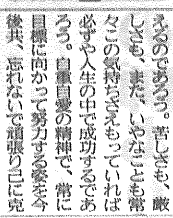
どのような人生を歩もうと、高校時代の友人はよいものです。今後もよく学んで下さい。そして、その学んだ事ですべて捨てる事ができた時、大いなる解やく世界が現われるような気がしております。よい人生を。

**田中哲彦先生**

**浅井弘一先生**

（心をこめてトトコト）

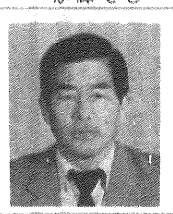
お元気で、さようなら。



**河村泰浩先生**

「己に克つ」

「己に克つ」という言葉がある。これは、常に自分という存在を見失うことのない様、日頃から行動、思考の目的に自覚が必要ということであろう。人生は長い。長い人生の中で時々節目がある。この時「己に克つ」ということが重要なポイントとなる。情熱を持って事を成し、責任を感じ行動することから真に「己に克つ」ということがいえるのであろう。苦しさも、厳しさも、また、いやなことも常々この気持ちさえもっていれば必ずや人生の中で成功するであろう。自重自愛の精神で、常に目標に向かって努力する姿を今後共、忘れないで頑張り己に克とうではないか。



**高塚和夫先生**

自然は生きている。四季をよ

**鈴木慎二先生**

〝巣立つ君へ　人間らしく誠実さをもって　明日に向かって羽ばたけ〟

卒業おめでとう。いま、新たな出発の時、過ぎた日々に思いもあろうが、もう昨日の君には戻れない。さあ、新しい進路に向かいしっかりと第一歩を踏み込め。人間らしく誠実さをもっうし、大きく言えば、プロ野球の方向性を明らかにするものといえるのではないか。また、それは単にプロ野球界だけでなく他のスポーツへの波及効果も大であろう。

▽広島の優勝を期待したい。それは偏狭なナショナリズムのなせる業、相も変わらぬ島国根性と排撃されるべき筋合いのものではないはずだ。

▽昨年のプロ野球の覇者、広島東洋カープが来シーズンは助っ人外人なしでペナントレースに臨むという意向を発表した。▽現在の日本のプロ野球での助っ人外人の活躍は目覚しい。それどころか今や各チームにとって助っ人外人は戦力として欠くことの出来ないものとなっており、勝敗の帰すうは彼らの成績次第といえなくもない程だ。昨年の阪急ブレーブス、ブーマー選手が外人として初の三冠王に輝き、阪急優勝の原動力になったことは記憶に新しい。

▽短いヒットをバンドでつなぐ日本の野球は実に地味である。そんな日本の野球に助っ人外人は「豪快さ」「派手さ」を提供してくれ、それによってプロ野球の醍醐味を味わせてくれているのはまぎれもない事実である。ファンにとっては助っ人外人によって本場の迫力ある野球をいながらにして見られるのは誠にありがたい。ところが広島は日本プロ球界に不可欠と思われる貴重な助っ人外人を外すという思い切った改革に着手するというのだ。果たして広島に勝算はあるのだろうか。

▽最近、日本の野球もかなりレベルアップしてはきた。現に、昨年の夏、公開競技としてではあったがロサンゼルスオリンピックにおいて、日本チームは堂々決勝で本場アメリカチームを打ち破って金メダルを獲得した。しかし、アマチュアはともかくプロ球界では「日米決戦」など夢のまた夢ほどの実力差があるといわれている。

▽事実、日本で活躍している外人選手の大半は米大リーグで使いものにならなくなった選手達なのだ。これが日本プロ野球が『ポンコツ大リーガーの天国』と言われる所以である。

▽近年、プロ野球だけでなく、サッカー、バスケットボール、バレーボールなど種々のスポーツで助っ人外人が進出している。「日本リーグ」「日本選手権」であるにもかかわらず「青い目をした選手」がワンマンショーのように大活躍、ついには日本の国技である相撲にまで外人力士が大暴れするに至った。出稼ぎないしはポンコツ外人選手に我がもの顔にされている日本スポーツ界。このままでいいのだろうか……。

▽広島の助っ人外人抜きという思い切った挑戦で、来シーズンのペナントレースは俄然おもしろくなってきた。来シーズンの広島の成績によっては助っ人外人が必要か否かが明らかとなろう。

（村上）

正しいメガネでしあわせを…
メガネの吉田屋
広小路店　浜松駅前広小路通り　☎(0534)11-1866
浜北ビル店　浜松駅南口前（浜北ビル内）　☎(0534)01-0561
高丘店　浜松・泰一丁目（ユニー前）　☎(0534)71-8116

御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃　夏スカート
〃　コート
男子制服詰エリ
生地純毛目毛カシドス地
ギャバ地
御調製
大森洋服店
浜松市佐藤町　TEL (61) 3288

名作を読みましょう
文庫本はいつも
豊富に揃っています
三省堂書店
本店　浜松市大工町三一一―一五　TEL(代)五四―〇三三一
支店　浜松市平田町五二　五二―八五〇一

近未来体験
科学万博
つくば'85
お申込みは
日本旅行
田町　浜松営業所
遠鉄名店北
☎(0534)54-4371
駅の中　浜松駅旅行センター
☎(0534)54-3501
第11回生　小幡利也まで

谷島屋書店
YAJIMAYA
浜松市連尺町309-1　☎53-9121(代表)
遠鉄名店ビル6階
松菱7階書籍部
鍛冶町・リブレモール
駅の谷島屋
浜団地支店
葵町店
浜松医科大学売店
駅南店

スーパーグリーン
FRESH No.1
いぐち
県立浜松南高校前
浜松市法枝町616
TEL 41-0050

本とレコードのお店
イケヤ文楽館
BUN GAKU KAN
☆高林バイパス沿いにOPEN！
広い店内には本あり、レコードあり、ビデオあり
まさに文化を楽しむお店です。
夜9：00まで営業　駐車場完備
MAP
テンジンヤ
愛知学院
高林バイパス
イケヤ文楽館
東海学院
イケヤ
本店　浜松市田町有楽街　〈0534〉52-5151
鍛冶町店／文楽館高林店／ユニー泉町店
磐田店／aiai磐田店／掛川店／袋井店／浜北店

# 進学戦線に異常あり

## 広がった就職への門戸

### ――本年度進路状況点描――

現三年生は新カリキュラムを履習した一期生。その動向はこれまでにも各方面の注目を集めてきた。とりわけ卒業を真近にした現在は進路状況に大きな関心が寄せられている。

本校生の戦いぶりやいかに――

進学、就職の責任者として進路指導に腐心されてきた高柳、鈴木の両先生に進学戦争の展望と就職戦線の回顧をお願いした。

### 共通一次試験を終えて

進路課進学担当　高柳邦彦

○はじめに

私立大学の難化傾向と国公立大離れが続くなか、六〇年度の共通一次試験が二月二六日（土）二七日（日）に実施されました。概要を報告します。今年の共通一次は新教育課程になって初めてのものであり、その意味で注目されていた点が多々ありました。それらは、まず第一に、問題はどの程度のレベルで、どのように出題されるか　第二に、年度頭初言われていた「浪人有利・現役不利」ということがどの程度のものなのか　第三に、一〇日以上も実施が遅くなった事が、受験生にどのような影響を与えるか、などです。第一について最も注目されていた理科Ⅰは、物化生地の総合問題として出題され、各教科が独立した形ではありませんでした。単に暗記に頼らず、思考力を要求する良問ですが、予想されない出題形式でした。

○本校の受験生は

試験会場は、例年通り浜松工業高校でした。本校からは九四人が受験しました。この人数について分析しますと、普通科在籍三二〇人の進路希望が、大学進学二〇五人、専修学校二一人、就職三人となっておりますから、大学進学希望者の四六%が国公立大学を希望したことになります。しかし、文系理系に分けてみますと、文系では三三%の人が、理系では六〇%の人が国公立大を希望しており、その差には大きなものがあります。これは授業料の差によるものでしょう。また、例年は国公立大希望者が一一〇人以上ありますので、今年は二〇人程度減少し、ここにも国公離れがみられました。さて、自己採点の結果は、本校の平均点が六一一点で、予想される全国平均点の六二〇点よりやや下回りました。また、七〇〇点以上の生徒が一二人しかおらず、この点でも例年より減少してしまいました。

これは、高得点を取ることのできる生徒が私立大に変更したことによりますが、上位の層が薄かった事も確かです。

○全国の受験生は

八〇〇点以上の、いわゆる高得点者が減少し、七〇〇点から八〇〇点台の生徒が増加しました。このことは、中堅校を希望している生徒にとって、二次出願時にどの大学にするのかという選定が非常に難かしいものになっています。

また、パイオテクノロジーに関連し、農学部の人気が上昇しています。中でも、農芸化学科の上昇、難化には目をみはるものがあります。さらに、意外であった事は、現役生と浪人生の得点差が昨年より少なかったのですが、より大きい原因としてその差が除々に縮まってはいたのでしょう。昨年の二学期頃より、生徒の意識が変ってきたこと、浪人生が意外に強くなっていたこと、などが挙げられたため、現役生に最後の追い込みをする時間が与えられた事によるものと考えられます。

○国公立大における本校受験生の第一志望校・学部上位一〇傑（自己採点時のもの）

| 順位 | 大学 | 学部 | 人数 | 順位 | 大学 | 学部 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一位 | 静大 | 教育 | 三 | 六位 | 筑大 | 情報 | 三 |
| 二位 | 静大 | 工 | 九 | 〃 | 茨大 | 理 | 三 |
| 三位 | 広大 | 工 | 八 | 八位 | 横国大 | 教 | 二 |
| 四位 | 静大 | 理 | 四 | 〃 | 三重大 | 工 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 工 | 四 | 〃 | 茨大 | 工 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 情報 | 四 | 〃 | 茨大 | 農 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 理 | 四 | 〃 | 茨大 | 教 | 二 |

合計四九人。実受験者の六三%。

○終わりに

全受験生諸君、頑張ってください。朗報を待っております。そして、一、二年生も日々の努力を怠らない様、充実した生活を送ってください。

### 就職状況

進路課就職担当　鈴木真徳

一月末をもって全員の就職が内定致しました。

進路希望は、就職が一〇四名、残り三〇名が進学でした。希望の産業は、製造業が最も多く三三名、卸・小売業、金融業、サービス、いずれも一〇名前後です。それ以外の電気、ガス業、運輸、通信業、公務員は、数名程度です。本年度は、サービスへの希望が多く出ました。実際の受験先は、どんな産業が見ると、進学者が七名減少し、卸小売業がその分増加しました。その他の産業は、希望者数とかわりません。希望産業へ全員受験することが出来たのではないでしょうか。

このような受験が出来たのは求人状況が大変よかったからです。企業数二七〇社、本校への求人指定数は、三三〇となっており、求職数の三倍にあたります。問題は、金融・保険業が二〇社と減少してきていることです。

職種は、事務職が大多数で二〇〇社、販売五〇社、技能五〇社、その他三〇社となっています。内定状況もほとんど事務職で、販売二名、その他一〇名、技能〇と、望む職種へ決定できたのではないでしょうか。

地域は、管内（浜松地域）の求人がほとんどです。内定先は東京三名、名古屋一名、それ以外は管内です。もちろん管外（県外も含む）の求人も、多数ありました。

内定企業を見ると、製造業は車、楽器、鉄鋼、繊維の大手をはじめ、近年めざましい発展をしている先端技術関連へ決定しています。やはり大企業の選考は厳しくなっています。また、事務職はどこも優秀な人材を必要とし、コンピューター・ワープロなどが導入されてきています。ぜひ積極的な学習活動が望まれます。

卸・小売業は、昨年まで人気のあった自動車販売が減りました。原因の一つに、受験科目数が多いのできらっているようです。ぜひ難関を乗越える実力を養ってください。

金融・保険業は、求人が減少してきています。ますます力がないと内定しません。それと、保険、証券、銀行の内容を理解してください。

サービス関係では、個人病院の受付けや助手の仕事、デザイン・美容室・キーパンチャー・スイミングスクールなどへ決定しました。希望としては、総合病院が多いのですが、求人が毎年かならずあるとはかぎりません。個性的でさまざまな希望が出てきます。自分を見詰め、よく調べることです。

公務員は、最終的に採用へはげられたため、現役生に最後の追い込みをする時間が与えられた事によるものと考えられます。

○国公立大における本校受験生の第一志望校・学部上位一〇傑（自己採点時のもの）

| 順位 | 大学 | 学部 | 人数 | 順位 | 大学 | 学部 | 人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一位 | 静大 | 教育 | 三 | 六位 | 筑大 | 情報 | 三 |
| 二位 | 静大 | 工 | 九 | 〃 | 茨大 | 理 | 三 |
| 三位 | 広大 | 工 | 八 | 八位 | 横国大 | 教 | 二 |
| 四位 | 静大 | 理 | 四 | 〃 | 三重大 | 工 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 工 | 四 | 〃 | 茨大 | 工 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 情報 | 四 | 〃 | 茨大 | 農 | 二 |
| 〃 | 筑大 | 理 | 四 | 〃 | 茨大 | 教 | 二 |

合計四九人。実受験者の六三%。

○終わりに

全受験生諸君、頑張ってください。朗報を待っております。そして、一、二年生も日々の努力を怠らない様、充実した生活を送ってください。

### 論説

## 「現代若者」考

若者の選挙離れの恐怖から社会の矛盾をかぎと政治離れが著しいという指摘をよく耳にする。例えば「昭和五十八年十二月総選挙」においての調査によると、二十歳代の半数が前回総選挙を棄権し、選挙で政治が変わると考える青年は、わずか四分の一足らずという結果がでた。言うまでもなく、選挙は政治に対する最大の権利の行使、民主政治の根幹となるものだ。この政治離れ、選挙離れの背景にあるものは何か？

**〝貧しさを知らない世代〟**

日本では、昭和三十年代から、〝飢えの恐怖を知らない世代〟が誕生し、成長したといわれる。従って、その貧しさから感じる社会の矛盾も苦脳も、さほど実感することができなくなっており、その意味では、政治的無関心は当然の帰着だ、とも。

たしかに、いつの時代においても若者は、貧しさ、飢えとその周辺の事に限られがちだ。政治とは就職、進学の口実きなど身辺の利害関係としかとらえられない。だから、政治体制とか世界状勢にはあまり関心を示さない。だがしかし、果たして、大類史上かつてない泰平の安定化社会にひたった若者はできなくなっており、その意味では、政治的無関心は当然の帰着だ、とも。

**自己中心的な人生観**

たしかに、いつの時代においても若者は、貧しさ、飢えの恐怖から社会の矛盾をかぎとり、その変革に身を投じてきた。しかし、高度経済成長以来の一億総中流化の中で、貧しさが生む社会の矛盾や苦痛が見えにくくなったし、政治を変革することによって達成すべき社会的目的が、少なくとも表面的には寛容で協調的な関係をつくるが、自分と異質なものに対しては閉鎖的に変えれば、それは案外、高成長を鈍く感じとっているのであろう。未来社会がいかに変貌をとげていくかは、自分自身の身に降りかかる火の粉であるからである。

「政治を軽べつする人間は軽べつに価する政治しか持てない」（T・マン）のである。若者の政治離れ、選挙離れを見て、ほくそ笑む人間はいないであろう。明日への理想に燃え、限りない可能性をはらんだ若き生命の躍動――それが若者の特質であり、社会が求めるものも、また時代の活路を開く先駆的役割である。

「貧しさを知らない世代」は、いくらか、社会への貢献よりは私的な姿の表れ、と見えなくもないのだから。

時代、時代の若者の姿は、一面から見れば、大人社会を映し出す鏡でもあろう。「青年は教えられることより、刺激される事を欲する」（ゲーテ）存在であるからだ。

**国際化の流れの中で**

現代の日本の太平は、微妙な国際情勢のバランスの上に成り立っており、いつ崩れるか分からない。多くの知識人が指摘しているように、すでに日本への外国からの風当りは、日増しに強くなっており、このままいけば国際紛争に発展しかねない。

おそらく「若さ」は、いくらか、社会への貢献よりは私的な姿の表れ、と見えなくもないのだから。

時代、時代の若者の姿は、一面から見れば、大人社会を映し出す鏡でもあろう。「青年は教えられることより、刺激される事を欲する」（ゲーテ）存在であるからだ。

「政治を軽べつする人間は軽べつに価する政治しか持てない」（T・マン）のである。若者の政治離れ、選挙離れを見て、ほくそ笑む人間はいないであろう。明日への理想に燃え、限りない可能性をはらんだ若き生命の躍動――それが若者の特質であり、社会が求めるものも、また時代の活路を開く先駆的役割である。

熱と力であり、それを可能にする人間に成長していくのが、我々に課せられた歴史的な使命ではないだろうか。

（永田）

### 〈中国文通〉

## ただひたすらに、一途なまでに…

本校生と中国の北京師範大学日本語学科の学生との間で文通が始まっていることはご存知でしょう。その数、およそ四十名。きっかけは、本校に十余年勤務されていた西原勲先生が同大学に日本語講師として勤務されていることにある。先生は静岡県教育委員会から長期出張の形で派遣され、この三月に二年の任期を終えて帰国された。先生はかねてから教え子たちの旺盛な学習意欲に感銘をうけていらっしゃり、彼らの実力伸長のために日本の学生との文通を望んでいらっしゃったとのこと。たまたま昨年夏、西部国語研究会が主催した「中国古典の旅」の団長として訪中された本校の鈴木校長との間で話しがまとまり昨年末から交流が始まったという次第。日本文化の原流をなす中国ではあっても、昭和二十四年の「中華人民共和国」の成立以来二十数年間の国交断絶の影響もあって国情に未知の部分が多い。中国の民衆の生活ぶりをはじめとして、ことに学生たちが今何を考え、将来にどんな夢を托しているのか、私たちにも大いに関心のあるところだ。

そこでペンフレンドの一人である14HRの柿原利子君にお願いしてお借りした一文を次に紹介する。

☆

拝啓

始めまして、私は柿原利子です。西原先生の手から君からの手紙をもらって、うれしいと思います。その手紙を読みながら君のことを想像しました。たぶん君は何事に対してまじめにやる人だろう。また、政治なんか興味をもっているらしい。いや、顔も知らない、想像するなんてつらいな。三ページも書いてくれてほんとにありがとう。

日本と言うと、たしか君の言っていると同じに車とかコンピューターとか、すぐ思い出されますが、それより、日本人の勤勉と知恵が一番印象深いものです。これは小説、映画から知ったばかりでなく、主に私たちの授業を担当なさっている西原先生の授業から見い出したものです。日本には、このようなすばらしい人間さえあれば、現代化なんか社会進歩なんか、できないことはないと信じています。

さて貴校からよこされたテープを聞きました。残念ながら柿原君の声が出て来なかった。よく聞かないかと思って耳をすまして柿原君の声を待ってますがとうとう出てこなかった。私はがっかりしました。もし、このあとまたテープを送り込むだろ、ぜひ声を出してください。

実に私のことは前のテープでもう言いました。私は北京のもので末子です。今年23才、三年生です。うちの学校では三年生は一番忙しいとこ

北京・天壇公園

北京・故宮

ろなんです。趣味ですね。今の段階で研究生の学位（向こうで学部の院生に当たるでしょう）実は何でも好き、何でも苦手です。現在、日本文学の研究生になるために頑張っています。だから、大変忙しいです。

でも、君からの手紙をもらえばうれしいと思ってます。これは両方にも勉強になれるかもしれません。どうぞ遠慮なく、手紙をよこしてください。中国の各人がそれぞれの道に人生を托して船出していかれます。今回はそうした三年生への送別の意味をこめ、卒業特集として大半を費やしました。一年ばかりの我が新聞部、それもわずか二回目の発行ということもあって意を尽くせないうらみはありますが、三年生の皆さんへのエールとしてご一読いただければ幸いです。

我が新聞部が常々考えていることは記事内容が単なる学校生活の報告に止まるのではなくて紙面を通して全校の皆さんに私たちなりの問題提起を、それもタイムリーにしていこうということです。今回トップに扱った三年生への皆さんが学窓を去るにあたってどんな感慨を抱いていらっしゃるか、真情を吐露していただくことによって南高の現状改革の方向性を、二年生に提示していただくことにありました。もちろん個々人によって環境に対する評価は異なりましょう。アンケート用紙を二枚一枚くっていく中で余りに投げやりの筆跡や内容で私たちに不快の気持ちを起こさせるものもありました。しかし、全体を通して得られたデーターは私たちのかかえている問題点を浮き彫りにした貴重なものと考えます。

一読後のご感想を是非新聞部までおよせ下さい。お待ちしております。

（鈴木）

### 人を語る

## この師ありてこそ

袴田　潤先生

先生は、昭和十一年たばこ屋の五人兄弟の末子として法枝町でお生まれになりました。当時、この周辺はほとんど農家で、商店は先生の家一軒だけ。周辺の人達の生活はただたんたんと働くだけという感じで、やはりどの家も裕福などという言葉は、とても数学をやりたくなった。」と熱あてはまらない程貧しかったとのこと。特に田んぼは、地下水が遠州灘の影響で塩分をふんだんに含んでいて、一反で三、四俵の米しかとれなかった。この収量は、当時の苦しく貧しい生活を物語っていよう。

このような生活環境から、先生が、どうして教師になれたのかおたずねすると、

「まず、自分の父が教師だったので、その影響が最初。中学へ進学すると、中村良之助という後高校では大野修先生がきっかけで

先生は、先生が中学二年の時の担任で、現在自分が教師を仕事としてやっているのも、この中村先生から教師の魅力を まざまざと見せつけられたからだ、とおっしゃいます。

中村先生は、非常に厳しい一面たいへん温かい、言ってみれば大変包容力があった先生だったとか。あだな名を〝エントツ〟と言った。由来は、難しい質問をされた生徒に立たせて、その立った生徒がエントツのように何人にも及んだことからだそうです。当時ならではの、機転でユニークな面を感じさせられました。その授業というのが、先生にとって今も忘れられない、現在教師としてなかなかまねできないところがあった、と袴田先生はおっしゃいます。それは、中村先生は発表してまちがえた者を決してしからなかった。むしろ、まちがっていても、その発表した生徒のことを十分考慮して、ほめたそうです。そのため、中村先生の授業は活気が満ちて、我先にと手挙げしたいへんにぎわったとか。

まりにほとんど全員の生徒が挙手したといいます。袴田先生もいつか枕草子の一部分「山の端の淡々とした姿勢には深く感動して下さった。

（加藤）

ズバリ考えが的中したことをきっかけにたいへんほめられ「あ、当たった」と心に生涯やっていこう。」と心に誓ったそうです。また、「クラス分けで下に入ったくやしさと、大嘗先生との出会いがなかったら今は数学をやっていなかったかも知れない。」とまでおっしゃっていました。

先生の愛読書に、教育者大村はまさんの「教えるということ」がある。この中で中村さんは、「教師は仏の手をもって生徒を助け、それを生徒に知られてはならない。」と指摘している。教師はあくまで影の人だと大村さんは語っている。先生は「これを読んで横っ面を思いきりはり倒された様な感銘を受けた。」と生活の目標を定め「教師の道は長く険しく、極めるのは難しい。」とおっしゃった。

夢は「互いに涙で卒業生を送ることだ」とも。最後に「自信・自覚をもって自分を鍛えて欲しい。やるのは今、苦しいことは報われる。」と助言して下さった。

（加藤）

### 編集後記

もう春といってよいほど過ごしやすくなってきた今日この頃一年という歳月は長いようで短いものだとつくづく感じます。三年生は間もなく卒業式を迎え各人がそれぞれの道に人生を托して船出していかれます。今回はそうした三年生への送別の意味をこめ、卒業特集として大半を費やしました。一年ばかりの我が新聞部、それもわずか二回目の発行ということもあって意を尽くせないうらみはありますが、三年生の皆さんへのエールとしてご一読いただければ幸いです。

（星川）

厳冬の中国で勉学に励む彼らに思いをはせつつ筆を終ります。

（鈴木）

入部大歓迎
浜松南高等学校
新聞部
●活動日　月・水・金
●活動時間　PM3:40～
●入部希望者は編集室まで

春期講習会
申込受付中
期間
3月17日(日)～3月23日(土)
3月26日(火)～3月31日(日)
河合塾浜松事務所
☎（0534）53－5581
詳細はパンフレットご請求の上、ご参照ください

コスモ星丸
マスコットマーク
つくば'85
昭和60年3月17日～9月16日
旅のことならなんでもどうぞ
日本交通公社浜松支店
浜松市鍛冶町312－18（西武デパート前）
TEL（0534）53－2111（代表）
54－6981（団体）

コンタクトレンズを
学生ご優待価格で!!
コンタクト専門相談室
かじ町コンタクト
●受付時間　10:30AM～6:30PM
●休　日　水曜（土・日曜、祭日平常通り）
〒430 浜松市田町330-21 平和ビル6F
☎0534(55)1383代

春物勢揃い!! ウキウキ・ドキドキ
★デザイントレーナー
★デザインパンツ
★スウェットスーツ
★スウェットパーカ
★各種ジャンパー
などなど
ウキウキする春物が揃いました。
CLOTHING NETWORK
COX
コックス本店
●浜松市鍛冶町320-23
COXPLAZA 1F
●TEL:0534(53)7225